三原市社会福祉協議会

令和7年(2025年)

月号

みはらふくしだより



日頃から福祉のまちづくりの活動にご協力いただき、ありがとうございます。この「みはらふくしだより」は、 三原市社会福祉協議会各地域センターの情報誌です。皆様の福祉に関する活動の様子やお知らせを掲載しております。

あぞうばら 久井地域センター 認知症を知り みんなで見守り合う莇原へ



莇原自治区は久井町の北部に位置する人口約90名の地域です。莇原川沿いに広がる美しい田園風景が 魅力で,秋には左の写真のように美しいヒガンバナが咲きます。

この地区は令和2年度に地域ビジョンを策定し、重点目標として「高齢者が元気に暮らせる地域づくり」に 取り組まれています。見守り活動は平成27年度から取り組まれ、75歳以上のひとり暮らしの人を気にかけ ておられます。最近は見守り対象でない少し若い人や高齢者世帯でも心配な人が増えてきたようです。

自治区として「認知症への理解を深めよう」と高齢者相談センターは一もに一が講師となり12月18日に 認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症サポーター養成講座

住民同士で声をかけあって、当日は18名の方が参加されました。









認知症への対応3つの心得 /

驚かせない

急かさない

自尊心を 傷つけない

認知症の人が抱える不安や戸惑いに寄り添う気持 ちが大切です。

「認知症だから何もできない・何も分からない」と 決めつけず, ちょっとした工夫や手助けがあればで きることがあります。



最後に自治区長の新谷さんから「見守り活動で心配なことがあれば,一人で抱え込まず必ず誰かと相談し合うようにしましょう」と呼びかけがありま した。認知症になっても自分らしく暮らし続けるために,周囲からの日々の声かけ・気にかけ合いの大切さが共感できたと思います。 社会福祉協議会は引き続き,地域の見守り活動に寄り添った支援を心がけていきます。

E原市社会福祉協議会 各地域センター

三原地域センター

電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599 メール chiiki@m-shakyo.jp (社協 地域福祉課宛)

本郷地域センター

電話 (0848)86-3607 FAX (0848)60-6064

(社協 本郷地域センター宛)

久井地域センター

電話 (0847)32-7101 FAX (0847)32-5011

メール hongo-c@m-shakyo.jp メール kui-c@m-shakyo.jp (社協 久井地域センター宛)

大和地域センター

電話 (0847)34-1214 FAX (0847)35-3020 メール daiwa-c@m-shakyo.jp

(社協 大和地域センター宛)

命和6年7月「ふれあり十一」赤石」がスタートしました!

三原市の東に位置する木原地域で、H19年に連合域で立ち上げた「ふれあいサロン木原」が、時を経て、各町 内会のサロン活動として再スタートしました。

今月は、令和6年7月に発足した「ふれあいサロン赤石」を中心に、内畠町内会「ふれあいサロン木原」と福地 町内会「ひまわりサロン」の3つのサロンをご紹介します。

赤石町内会(R6年~) 「ふれあいサロン赤石」







内畠町内会(H19年~) 「ふれあいサロン木原」



毎週のお祭しかができて 3nulis~

記録的な暑さのなかスタートした「ふれあいサ ロン赤石」ですが、毎回約25名の参加があり、半 年たった今でも大盛況です。

立上げ準備期間には、「ふれあいサロン木原」 と「ひまわりサロン」の見学や、「百歳体操」体験 会を開催し、参加しやすいサロンを目指して重ね た努力が,実を結びました。

男性も沢山参加されており、「ここに来とれば、 無理なく元気でおれそうじゃわ」と、笑顔で活動 を楽しまれていました。

高齢者だけでなく、年に数回は幅広い世代が楽 しめるイベントを企画し、住民同士が楽しく交流 できる素敵なサロンが誕生しました。







福地町内会(R元年~) 「ひまわりサロン」

毎週金曜日に百歳体操 とおしゃべりを楽しむサ ロンでは「体操よりおしゃ

べりに一生懸命じゃわ」と, この日も, ワケギやみか ん,市広報の話題で盛り

上がっていました。



即感的精技で、みんなが重複

「カゴづくり」が日課の参加者さんからのプレ ゼントや, 趣味の絵手紙を活動に取り入れたり, サロンはみんなが主役です。







「ちょっと聞いてみるんじゃけど…」 サロンは身近な情報交換の場

~ 社協から一言 ~

少子高齢化などにより孤立が心配されるなか, それぞれの地域性に合ったスタイルに生ま れ変わったサロンは、単なる交流の場にとどまらず、新たな仲間づくりや助け合いを実現す る拠点として進化していると感じました。

また、「木原はもともと声をかけ合い、助け合って暮らしてきた地域。すごい人も沢山いる し人材の宝庫なんよ。」とお話してくださるスタッフさんの頭には、いろんなアイデアが浮かん でいるようでした。今後のサロンが, 益々楽しみです(^-^)